

キャラクター名  
月海 快那(ツキミ カイナ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス サラマンダー	ワークス	中学生	カヴァー	中学生
オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	30%
出自		経験	友人の死	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	0	0			3	行動値	7
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タ	イ	消費
陽山 緝(ヒヤマ シュウ)	P 友情	N 悔悟			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
DロイスNo.2:起源種	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:	1		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
雲散霧消	5	5	オート	至近	範囲選択	自動	-	
効果: ダメージ-lv*5 1回/R								
原初の白?鏡の盾?	2		オート		単体	自動	100%	
効果: ダメージを受けたとき、与えた相手に受けたダメージと同じダメージを与える(上限lv*20) 1回/シナリオ								
氷雪の守護	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージ-(1+lv)D 1回/R								
氷雪の守護範囲	1		オート	至近	範囲選択	自動		
効果: 氷雪の守護 範囲化								
ダイヤモンドダスト	1	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果: 氷雪の守護強化。さらに-3D。								
	1							
効果: BS回復								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

□□ その景色を、今でも忘れない。  
手を伸ばせば届いてしまいそうなほど近い星空。  
月のクレーターまでもが見えそうだった。  
あまりの美しさに言葉は出ず、無意識に腕が上がった。  
涙を流しながら閉じた拳は、しかして、何かを、握んだ…。

□□ 13歳の冬、家族と共に旅行で行った山の上で星空を眺めていたとき、カイナが手に入れたのは星空を閉じ込めたようにキラキラと光る青い宝石が嵌め込まれた銀の指輪だった。  
指輪には遠い宇宙からの光でバリアーをはる力が備わっていて、手にしてからというものUGNだとかFHだとか謎の組織やら宇宙人やらマフィアやらから狙われるようになってしまった。  
そのため大切な人々の安全と安心を守るため、自作コスチュームに身を包み日夜戦っている。

□□ 指輪を狙ってくる敵対者を日々退けていたカイナの前に現れたのは金髪碧眼の背の高い少年だった。彼は陽山シュウと名乗り、自分は地平に沈む太陽から指輪を授かったという。  
言葉通り彼の左手には燃えるように赤い宝石の嵌め込まれた金の指輪がされており、その意匠はカイナの指輪とよく似ていた。  
一年間カイナと共に戦い、カイナに命を託すことになるシュウとの出会いはなんの変哲もない平凡なものであった。

□□ カイナがもうすぐ15になるうかと言う頃の話、カイナとシュウの前に強大な敵が立ち塞がった。  
まるで歯が立たず地に伏せる二人。星々から超常の力を授かった二人をもってしてもはや立ち上がる力も残ってはいなかった。